

潤生園 物語

第2回「やっぱり家が一番。とし江さんと浩江さんの
定期巡回・随時対応型訪問介護看護のおはなし」



潤生園の理想は、みなさんが施設に入ることなく自宅ですごせるようになることです。「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」というサービスは、まさにご利用者の自宅での生活を支えるものです。潤生園では、平成24年の「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」サービス開始以前から、このサービスにモデル事業として携わってきました。現在、小田原市で行っているのは潤生園だけです。今回はサービスを行っている潤生園職員の池野和憲と一緒に、実際にサービスをご利用いただいている高瀬とし江さんと、娘の加藤浩江さんにお話を伺いました。

——— まず、この「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」というサービスをいつぐらいから受けられてるんでしょう。

浩江さん 去年の8月からです。

——— サービスは毎日ですか。

池野 高瀬さんはデイサービスも利用されていますので、デイサービスの日はデイサービスの職員が、その他の日は我々が訪問しています。

——— 高瀬さんお元気ですね。今おいくつでしょうか。

とし江さん 83歳です。

——— お子さんは何人いらっしゃるんですか。

とし江さん この娘（浩江さん）と、あと男の子。今は別に住んでますけどね、子どもはどこにいても「いるんだな、いてくれるんだな」と思うだけで、独りじゃないんだと思えて心強いですね。

——— 他にも訪問サービスがいくつかあると思うんですけど、この24時間対応のサービスというのは。

池野 通常の訪問介護ですと、決められた内容の援助しか行えませんが、このサービスでは、訪問したヘルパーがその時に必要と思われる援助内容を追加して行うことができます。高瀬さんの場合は、状態が安定しており、高血圧の薬を飲んで頂く事や食事摂取の確認、冷蔵庫内の食材の確認等を行っています。その他にも、不審者の出入りや勧誘等がないかの確認も行っていきます。

——— 外に出て散歩とかはされますか。

とし江さん しますよ。堤防をずっと歩いて砂浜に降りてひとまわりして、そこに神社があるんですよ。「今日も元気で過ごさせてください」って拜んで。

——— ずっと、もう昔からここですか。

とし江さん 生まれた時からここです。ずっとここで育て、お嫁にいかずお婿さんをもらったので。

——— 今は1日何回ぐらいヘルパーさんは来てるんですか。

池野 高瀬さんの場合は、現在、この時間ごとの訪問ですが、健康状態や生活の変化に応じて訪問時間や訪問回数などを随時変更できます。

——— サービスが来てくれて安心できることはありますか。

とし江さん ヘルパーさんが様子見に来てくれて、薬飲んだか確認してくれたりするだけでも心強いですよ。

浩江さん 私はヘルパーさんが来てうんと助かってます。(訪問) ノートなんか見ても、りんごを剥きましたとか、箸を洗っておきましたとか、こちらがお願いしたこと以外も臨機応変にしてくださって、温かく接してくれているのが良くわかります。毎回きちんと薬を飲んでいるので、母もこうして健康を維持しているし、自宅で過ごせますし。それから日曜日に日用品のお買い物もお願いしています。それだけで天気が悪くても必要な物が切れる心配がないので安心です。それと、水曜日はお掃除をしてもらっています。それまでは自分が一週間に一回、来た時に買い物や、掃除や、冷蔵庫のチェックなど、全てやらなくては行かませんでした。今は普段ヘルパーさんにやっていただいていますので、時間的に余裕ができて母との会話の時間も増えましたし、お散歩にも行けるようになりました。そういう利点もありました。

——— ヘルパーさんは何人くらい来ているんですか。

池野 例えば予定していたヘルパーさんがお休みしてしまっても必ず誰か訪問できる職員がいるために、大体10人弱のヘルパーさんで交代で訪問させていただいています。

——— どこか施設なんかは考えましたか？

とし江さん 一度も考えません。ずーっと、ずーっとここに居たいから。子どもの頃からですからね。ずーっとここにいたいんです。デイサービスも楽しみです。

——— ご近所とかもかなり知り合いとかも多いんですか。

とし江さん ここで生まれましたからね、ご近所皆さん仲良しさんですよ。たまに知り合いが窓から「元気かよ、生きてんかよ」なんて顔を出してくれたりね(笑)、そうすると「生きてんだろ、あがっていきなよ。」ってお話ししたりね、そういうのが楽しいですね。

——— このサービスはどうやって知ったんですか。

浩江さん 地域包括支援センターに相談してです。最初は「要支援1」で始めて、だんだん薬の飲み忘れが多くなって、「要介護1」に段階が上がって、それをきっかけに利用させていただきました。

池野 「要介護」の認定が出ていればご利用できるサービスです。

——— 娘さんからみて、これはいい制度だと思いますか？

浩江さん もちろんです。まず薬が確実に飲んでいる。遠方にも誰か毎日会いに来てくれて安否確認できるので心配しなくてもいいですから。しかも24時間対応ですから何かあればお電話ですぐに来てくれますから、そうした信頼感ですね。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護とは？

ヘルパーが1日に何回も訪問して必要な介護をします。
緊急時には24時間対応のヘルパーが駆けつけ、ご自宅の暮らしの安心を守ります。

① 定期巡回サービス

1日複数回訪問し、身体介護や生活援助を行います。

※身体介護：排泄介助、食事介助、起床・就寝介助、入浴介助、体位交換等、服薬介助
※生活援助：日用品の買い物、一般的な調理、掃除、洗濯、ベッドメイク等

② 随時対応サービス

24時間365日いつでも通報に応じてヘルパーが必要な対応を行います。

一般的な訪問介護との違いは？

これまでの訪問介護はあらかじめ決められた曜日・時間に訪問するサービスですが、定期巡回・随時対応型では、訪問する回数や時間などを、利用される方の希望に合わせて柔軟に組み合わせ対応いたします。

ご希望により24時間365日の対応が可能です。
ご利用頂く方には通報機器をお貸し致しますので、押すだけでオペレーターにつながります。